

多様性の考え方の違い

熊本県立宇土高等学校
k-1(20)班

要旨 世の中で多様性が多く求められているがそれは**世間**という基盤に問題があるのではないかと考え、宇土高からわかる社会の構造を考察し、本当の多様性、生きやすい世の中を創造するためには今の日本の多様性の考え方のあり方を考え直す必要がある。

1. 目的

宇土高校から社会全体に通じることは何かと考え、本当の多様性について日本人の性格から考察するため。

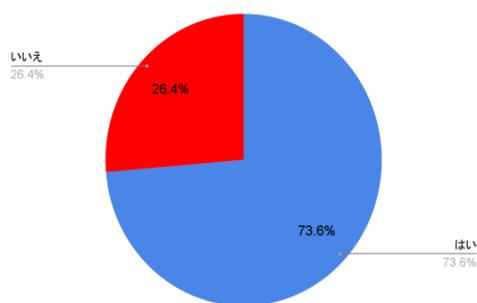
2. 方法

宇土高校二年生を対象にアンケートを取り一部から全体を推測し、日本人の性格、並びに多様性について考える。

3. 結果

・結果1 宇土高生の現状を知る

宇土高生で自分自身が消極的ではないと考えている人は **26.4%**
自分自身を消極的であると考えた人は **73.6%**



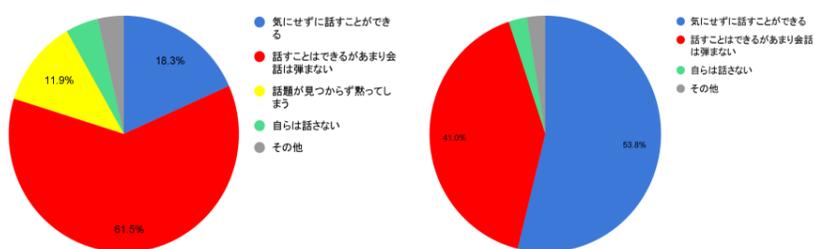
全体の**7割**以上の生徒が自分のことを消極的だと考えている

・結果2 対比

質問1

3人でいたらよく話すが、1人帰ってしまいあまり話したことがない人と2人になってしまった。あなたならどのように行動すると思いますか。

自分自身を消極的であると考えた人 自分自身を消極的ではないと考えている人



point 話せるけど話さないという人が多い！

質問2

あなたは英語が好きだとします。ALTの先生が来たときあなたはどのように行動すると思いますか。

自分自身を消極的であると考えた人 自分自身を消極的ではないと考えている人



point 話しかけたいけど行動には移さない人が多い！

宇土高校二年生だけを見ても自分が消極的だと考えている人が多い。その一方で話しかけようと思えば話しかけられる人も一定数いることがわかる。

4. 考察

「日本人は権威主義的で、自分以外の権力に依存して 生きていく。」



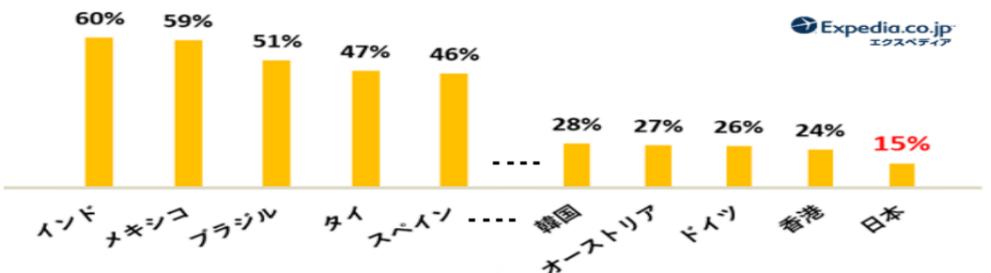
阿部謹也先生
阿部先生が考える**世間**とは

例

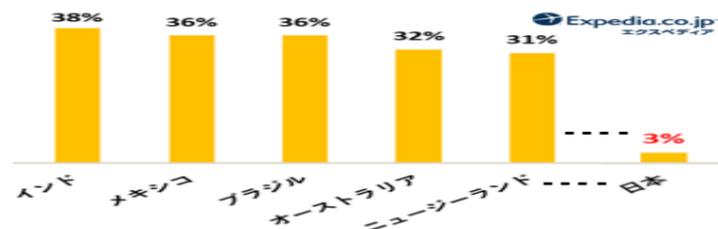
- ・皆と共に行動するとき、私達はできるだけ皆似合わせようとする→**協調的な行動**
- ・何らかの意見を聞かれたとき、自分の意見をきちんとすることが大切であるが、他の人の意見を聞きながら自分の意見をそれに合わせたりする→**権威主義的**

- ・**自分を含む比較的小さな人間関係の輪**
- ・自分が一員である世間の人々に迷惑がかかることを恐れている
→**日本人は自分の名誉より世間の名誉を大事にする**
- ・もし今世間がなくなってしまったら私達の多くは行動の指針を見失ってしまう→日本人は長い間世間を基準に生きてきた
フライト内コミュニケーションに関する国際比較調査

【国際比較】「機内で隣の知らない人に話しかける」割合ランキング(上位5か国と下位5か国)



【国際比較】機内で他人に旅行のおすすめを共有する上位5か国と日本



・上のグラフは世界23か国「フライト内コミュニケーションに関する国際比較調査」で日本は機内で隣の知らない人に話しかける割合が最も低い

日本人が自分の世間を大事にする一方でその世間を広げようとはあまりしないのでは？

・近年日本は**ユニバーサルデザイン**や**バリアフリー**、**男女格差**と言った**多様性**を求めるための取り組みが実を結んではじめている部分がある。

・意見を言えない人言わない人が多く存在している
→**選挙**や**過労死**など多くの部分に繋がっていくのではないかと

・謙虚なことは日本人のいいところであり悪いところである
今後の展望

多くの多様性が確立され私達の生活がより良いものになるためには どうすればいいか結論を出す

例 第二言語の習得 人間世界の仮想化

6. 参考文献

「世間」とは何か 阿部謹也

エクスペディア・ジャパン

「フライト内コミュニケーションに関する国際比較調査」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000196.000003373.html>